

権力濫用の中村市長

選挙後の初議会で即刻不信任を

受託取崩の容疑で逮捕起訴された中村市長の不信任が決議されたことに伴い、市長が4月3日に勾留中の名古屋拘留所から議会解散を宣告しました。市議会議員選挙は、4月26日告示、5月3日投票で行われます。

議会解散ドキュメント

市長不信任によって市長は潔く失職するか、それとも議会解散権を行使するか、二者択一です。選挙の最終期限が迫った4月3日、市長の弁護士が名古屋拘留所で市長と接見する時間に合わせて、議員は全員市役所に待機して、その報告を待ちました。

「市長が汚職で逮捕されたのに、市長が失職しないで、どうして議会を解散をするのか。市民の憤りが一気に広がりました。」

道理なき解散

市長の議会解散権は、市長と議会の考えなどの違いで対立し、議会の市長不信任に対する対抗手段として最後の切り札に使われるものです。ですから、過去に市長が逮捕起訴されて拘留中に議会解散させた例は、過去にほとんどありません。まさに、前代未聞の職権の乱用です。

一刻も早い市長辞職には

②(一部省略)前項の期間内に議会を解散しないとき、又はその解散後初めて招集された議会において再び不信任の議決が(一部省略)あつたときは、地方公共団体の長は、同項の期間が経過した日又は議長から通知があつた日においてその職を失う。

③前二項の規定による不信任の議決については、議員数の三分の二以上のものが出席し、第一項の場合においてはその四分の三以上のもの、前項の場合においてはその過半数の同意がなければならぬ。

市民の審判を

市長は、議会の解散についてのコメントとして「私の政治を選ぶか古い体質の政治か選択を」と述べています。

それならば、今度の市議会議員選挙は、市民が市長にきつぱりと審判を下さなければなりません。そのためには、中村市長の政治に闇雲に追従し応援してきた議員も同様に問わなければなりません。

眞実は一つです

市長市滞納問題の緊急質問

4月5日の「新聞」の記事で、「追従に終始」の記事の中で、市長の市税滞納問題で鈴木議員が緊急動議を出したが、賛同が得られず黙殺とありました。つまり日本共産党もその質問を黙殺したと読み取れる記事です。日本共産党の牧野次郎議員は2月4日に事件が発覚してから2月28日の本会議まで十分時間がありましたから、事前に質問の通告をして、議会に臨みました。

性強い案件でなければ、緊急質問として取り上げませんし、同じ趣旨の質問であれば通告してある質問が優先です。

よって、日本共産党は、鈴木議員の緊急質問が許可されたら、牧野次郎議員の質問はなくなるため、質問に賛同できないという趣旨の発言をし、議長も緊急性を認めなかつたのです。

比例代表予定候補



佐々木憲昭
衆議院議員

せこゆき子
元衆議院議員

八田ひろ子
元参議院議員

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議について、日本共産党は反対、社民党は賛成しました。決議は、「ミサイル」と決めつけたうえで、「国連決議に明白に違反」と断定していますが、「ミサイル」と断定できない以上、「国連決議に違反する」と断定する根拠がありません。共同通信の論説も「首相が、やるならやってみると言わんばかりの姿勢をとるのは、突出しすぎた。共産党の志位和夫委員長が『外交努力をやらないうまま軍事で身構えるのは、外交的解決を台無しにする』と批判したのも当然だ」と。さらに「独自の制裁を強めるべき」としてはいますが、これは、六者協議における「これ以上の緊張を激化させる、いかなる行為も慎む」という合意からの逸脱です。

地方自治法抜粋

(不信任決議と長の処置)

第178条 普通地方公共団体の議会において、当該普通地方公共団体の長の不信任を議決したときは、(一部省略)普通地方公共団体の長は、その通知を受けた日から十日以内に議会を解散することができる。



潮騒

小学校の入学式に伺いました。政治の世界では大人たちのどろどろしたうとましい状況が続いていてうんざりですが、子どもたちは幼ければ幼いほどびたすらにいとおしく、かわいらしい。こんな純粋な子どもたちがこのままのびのび成長してくれることを願ってやみません。校長先生が相田みつおさんの言葉を引いて、入学を祝う励ましの言葉とされました。その言葉とは「負ける人のおかげで勝てるんだなあ」と「やらなかったのか、やらなかったのか、どっちかな」ということ。勝負に勝ったときは勝負がきつければきついで自分満足と安堵の思いに浸り、負けた人のことなど意識の外が常識でも、そんな時に、負けた人のことに思いを寄せることができれば、負けた人ほどはと癒されることでしょうか。このごろ敗者はどこまでも「自己責任」を追究され、追い詰められてしまう傾向が強くなっていますが、とても暖かい言葉です。「やらなかったのか、やらなかったのか、どっちかな」これは「ら」と「れ」の差で太違い。とりわけ大人は「ら」と「れ」を置き換えて、他人よりも自分をごまかすことが多い。でも自分をごまかしてはいけませんと詰問するのではなく、どっちかなと迷がしてくるあつたかさには甘えないようにしなくては。



汚れた政治
一掃で

市民の願いかなう 新しい政治を!

中村市長が汚職で逮捕されたことは、西尾市の名誉傷つけ、市政への信頼を大きくそこなうものです。しかも市議会の不信任決議に対して、自ら反省することろか、逆に市議会を解散したことに、市民の怒りは高まっています。

私は中村市長が強行した市長、議員の給料引き上げや特定団体への巨額補助、西尾城の建設など税金のムダづかいに反対してきました。また、市長の市税滞納問題では、市長の資産公開報告書との違いを指摘し、虚偽の報告であること明らかにし、市議会が百条委員会を設置して徹底説明す

るよう求めてきました。しかし、自民、公明、保守のオール与党体制の市議会の中では正義の声は実現されず、「くさい物にふた」の結果となったことは残念です。しかし、真相解明は市民の声であり願いです。「今度こそ共産党と次郎のガンバリ時だよ」と期待が寄せられています。

わたしは今こそ、みなさんの願いに答えて清潔で公正な政治、市民本位の政治を実現するため全力で頑張る決意です。



- 実現の為に全力を尽くします**
- ★住宅耐震工事・高齢者住宅リホームの拡充で雇用創出、中小企業の仕事確保に
 - ★国保、介護・高齢者医療の負担軽減と無慈悲な保険証取り上げをやめさせます。
 - ★小中学校で少人数学級の拡大、保育と学童保育の充実整備
実現できました
 - ★無料妊婦健診の回から7回、さらに14回へと増やす。
 - ★巡回バス1路線から3路線へ
 - ★子ども医療費中卒業まで入院・通院とも無料化。
 - ★中学校区ごとに図書室設置の配置…など

収賄市長の早期辞職を 市政の大掃除を



日本共産党の

牧野次郎

(51歳)

日本共産党
前 西尾市議会議員

プロフィール 1957年生まれ、前西尾市議会議員
中部工業大学卒、現日本共産党西尾市委員長
住所/西尾市本町18 TEL57-3064

西尾市政は、汚職や談合など、汚名を全国にどろかせてしまいました。汚れた政治はうんざり、これが市民の思いです。

新庁舎の入札では他の業者がすべて辞退し、鴻池組一社という異常事態になりました。しかも、当時鴻池組は名古屋市の下水道事業をめぐって、談合を仕掛けた罪で幹部2名が逮捕されていました。そうした状況下で、はじめ「鴻池組への発注は問題あり」としていた保守議員の殆どが市長に屈服し、賛成に回りました。その後も談合や談合情報が相次ぎました。談合に甘い市の烙印を押されたのでしよう。

市長の市税滞納問題も、日本共産党は一般質問を行い、徹底説明を求め、「調査会の設置を求めましたが賛成は3人のみ。その時点で徹底説明をしていたら、今日の

ような大事件には至らなかつたでしょう。いずれにしても「市長と議会の馴れ合い」「くさいものにふた」を改めることが市民の強い要望です。

今、市民の暮らしや健康の不安がつつています。とりわけ国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の負担は重くなる一方で、年金の目減りは続きます。雇用、営業も厳しさを増すばかり。

こんな時だからこそ、市民の思いが届く市政に変えるため、全力で頑張ります。皆様のご支援を心よりお願い致します。



牧野かつ子

日本共産党

収賄市長は早期辞職を!

清潔で公正な市政をとり戻しましょう

プロフィール 1944年西尾市上町生 1991年より西尾市議会議員、前政治倫理審査委員会委員 西尾実業高校卒、西尾市立保育園保育士29年 趣味 ガーデニング